



毎日、暑い日が続いていますね。子どもたちは、鬼ごっこや水遊び、シャボン玉など、戸外でいろいろな遊びを楽しんだり、お店屋さんごっこやお家ごっこなど、先生や友達と一緒に遊ぶことをうれしく感じたりして、自分のしたい遊びを楽しむようになってきました。

【水遊びたのしいね】

水遊びが始まり、楽しそうに遊び出す子どもたち。プールに入って浮かんでいる魚をバケツに集める子、水鉄砲で水を掛け合う子など、先生や友達と一緒に思いのままに楽しんでいました。Aちゃんが「見て！イルカさん集めているの」と教師に教えてくれたので、「イルカさんプカプカ浮かんでいて気持ちよさそうだね」と言いながら教師が同じようにすると、Aちゃんは「もっとお水入れるんだ」と言って、ひしゃくを使いながら水や魚をすくってバケツに入れることを楽しんでいました。すると、近くにいたBくんがやってきて、「僕はワニを捕まえるよ」と言って捕まえることを一緒に楽しみました。また、水鉄砲で教師に水をかけたり、的を狙ってみたりして遊ぶ子もいます。Cちゃんは、「あ！あそこに怪獣がいるぞ！やっつけないと」と言って怪獣の的に近づきました。教師が、「本当だ。大変だ。やっつけよう」と言うと、Cちゃんは水鉄砲で怪獣をやっつけて「よし！やっつけたぞ」と喜びました。すると、近くで見ていたDちゃんが、「私はこっちからお化けをやっつけたい」と後ろからお化けをやっつけるなど、自分でしたい遊びを見つけて遊んでいます。

これからも水遊びが続きます。自分のしている遊びを教師に受け止めてもらう喜びを感じながら、水の感触の心地よさや解放感を味わっていけるようにしていきたいです。

【いらっしゃいませ、ドーナツ屋さんです】

「ドーナツ屋さんしたいなあ」というつぶやきから、ドーナツ屋さんごっこが始まりました。黄色の紙を丸めてドーナツを作り、作ったドーナツに水性ペンで色を塗り、「これはチョコのドーナツ」「にじいろドーナツだよ」などと話しながらドーナツ作りを楽しんでいます。教師がお店屋さん用の机を用意すると、机の上があっという間にドーナツでいっぱいになりました。「お店屋さんにはレジがあるよね」「ドーナツ屋さんの帽子が欲しい」などと欲しい物を教師に話し作ってもらったり、お客さん用の椅子やトングなど必要なものを自分たちで持ってきて、お客さんを呼びに行きました。初めはお客さんを呼ぶことを恥ずかしそうにしていた子どもたちでしたが、教師と一緒にお客さんを呼び、たくさんのお客さんが来てくれることがうれしくて、次第に堂々と呼びに行ったり、お店屋さんになりきって「どれにしますか？」「お持ち帰りですか？」などと話す姿が見られました。



今後も、子どもたちのしたいことを教師がくみ取り、それに応じた素材や遊具を用意して、欲しいものを自分なりに作る楽しさ、作ったもので遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきたいと考えています。

【きゅうりができたよ！】

苗を植えて、大きくなることを楽しみにしていた子どもたち。実は、育ててからの楽しみということで、子どもたちには、植えた野菜を秘密にしていました。「何ができるのかなあ」「大きなあれ」と毎日楽しみにしながら、たくさん水やりをしていました。6月に入ると、花が咲き、きゅうりが実り始めました。ある日、一人の子が様子を見に行くと、「これは、オクラかな？」と教師に聞きました。すると、周りで見っていた子どもたちも集まって来て「どれ？」「唐辛子じゃない？」と興味津々。教師も「オクラかな？唐辛子かな？」と一緒に考えながら、もっと大きくなることを楽しみにして待ちました。数日後、「先生！きゅうりができている！」「本当だ！」「きゅうりだったんだ。食べたい！」とみんなで大喜び。収穫したきゅうりを触って「わあ！トゲトゲしてる」と感触も楽しんでいました。その後、収穫したきゅうりを業務士の杉原さんに調理してもらって、美味しく食べて、「苦手だけど頑張るって食べる」とみんなで育てたきゅうりだから食べてみようとしたりする姿が見られました。今後も、きゅうりや他にも育てているミニトマトの成長の変化を楽しんだり、収穫を楽しみに思いながら大切に育てたりできるようにしていきます。